

平成 23 年度 認知症介護研究報告書 〈若年性認知症に対する効果的な支援に関する研究事業〉

平成 23 年度

認知症介護研究報告書

〈若年性認知症に対する効果的な支援に関する研究事業〉

社会福祉法人 仁至会

認知症介護研究・研修大府センター

目 次

平成 23 年度研究成果

- 1) 若年性認知症ネットワーク 1
 — 本人・家族の交流会とサポーター・スタッフの勉強会 —
 小長谷陽子(認知症介護研究・研修大府センター研究部)
 鈴木 亮子(認知症介護研究・研修大府センター研究部)
 尾之内直美 (認知症の人と家族の会・愛知県支部)

- 2) 若年性認知症デイケアプログラムの紹介のためのパンフレット作成..... 29
 小長谷陽子(認知症介護研究・研修大府センター研究部)
 鈴木 亮子(認知症介護研究・研修大府センター研究部)

- 3) 地域包括支援センターの若年性認知症に対する就労支援..... 61
 小長谷陽子(認知症介護研究・研修大府センター研究部)

若年性認知症ネットワーク —本人・家族の交流会とサポーター・スタッフの勉強会—

主任研究者 小長谷 陽子（認知症介護研究・研修大府センター研究部）
分担研究者 鈴木 亮子（認知症介護研究・研修大府センター研究部）
研究協力者 尾之内 直美（認知症の人と家族の会・愛知県支部）

A. はじめに

若年性認知症は、働きざかりや家庭での役割が大きい年代の人におこり、生活や家族への影響が大きい。このように高齢者の認知症とは異なる様々な問題がありながら、高齢者の認知症に比べ支援が十分とは言えない。介護保険制度からも社会福祉制度からも抜けおちる場合もあり、介護保険制度を利用するまでは、社会との関わりが限られることも少なくない。

そのため、若年性認知症の人と家族の居場所づくりの一環として、平成20年度に「若年性認知症の本人および家族の交流会」を実施した。また、交流会を支えるサポーターを育成するために、養成講座も実施した。この交流会は当初の予定では回数を限定したものであったが、本人及び家族が継続を希望し、平成21年度からは、“元気かい”という名称で、活動が継続されている。“元気かい”が発足したことにより、若年性認知症の本人と家族のネットワークが形成され、サポーターという形で多職種の介護関係者のネットワーク形成にも波及している。本報告では、若年性認知症ネットワークとしての交流会と、それに関連した勉強会について報告する。

B. 活動内容

1. “元気かい”の活動内容と参加者

基本的には毎月第2土曜日、13時30分から16時まで、東海市しあわせ村で活動を実施している。活動内容としては、本人はサポーターと最近の様子や季節の話題など日常会話を楽しんだり、活動場所の公園内を散歩する。その間、家族は本人をサポーターに任せ、日頃の悩みなどを話す時間を持つ。また、全ての参加者が一緒にリクレーションや創作活動を行う時間もある。

昨年度末に、元気かいの仲間が皆で一緒にできることはないかということを検討し、平成23年度4月から音楽療法士にボランティアで参加してもらい、合唱

を始めた。いずれは家族会が行う講演会などで合唱団として、合唱を披露することを目標としている。

季節によっては通常とは異なる形式で行った月もあった。4月は例年の行事としてお花見にでかけ、1月は新年会を兼ねて、バスによる日帰り旅行を実施した。

表1に各月の“元気かい”の活動内容を、表2 に参加者数を示す。

表1. “元気かい”の活動内容

月日	場所	内容	その他
平成 23 年 4 月 9 日	しあわせ村 大池公園	自己紹介・雑談(好きな唄は) 合唱：季節の歌、演歌、「手のひらを太陽に」 他 花見(天候回復のため急きょ花見へ)	この月より、音楽療法士の金山由美子先生が参加。電子オルガンの演奏で合唱
5月14日	しあわせ村	自己紹介・交流会・散策 合唱：金山先生 体操・ストレッチ	
6月11日	しあわせ村	自己紹介・交流会・散策 合唱：金山先生 体操・ストレッチ	
7月9日	しあわせ村	自己紹介(氏名・夏の思い出話) スイカ割り・スイカ種飛ばし大会 合唱：季節の歌 体操・ストレッチ	金山先生の浴衣姿を見て、夏まつりの思い出を歌う
8月		リフレッシュ旅行(28・29日)のためお休み	
9月10日	しあわせ村	自己紹介・交流会・散策 合唱：金山先生 フォークダンス 体操・ストレッチ	合唱後、先生の演奏に合わせて輪になりフォークダンス(オクラホマミキサー・マイムマイム)

10月8日	しあわせ村	自己紹介（氏名・住所・秋に 食べたい美味しいものは？） 交流会・散策 合唱：金山先生（ドラゴンズ 優勝の歌他） 体操・ストレッチ	秋に食べたい美味し い物：まったけ・サ ンマ・さつまいも・ 栗・栗きんとん・き のこ……。 でもやっぱりさつま 芋が一番美味しいね
11月11日	しあわせ村	大交流会	
12月10日	しあわせ村	自己紹介・交流会・散策 合唱：金山先生 体操・ストレッチ	
平成24 年 1月8日	“酔の町”見学 “蔵のまち”散 策 四季房“吉仙”	新年会：バス日帰り交流会と 昼食会	昼食会会場で合唱 （お正月・上を向い て歩こう・手のひら を太陽に）

表2. “元気かい”の参加者人数

実施月		参加者(人数)			合計 (人数)
		本人	家族	スタッ フ	
平成23 年	4月（花見）	6	7	12	25
	5月	8	9	7	24
	6月	9	11	5	25
	7月	10	13	10	33
	8月	夏休み			
	9月	6	11	10	27
	10月	5	7	8	20
	11月(大交流会)※		7		7
	12月	7	10	6	23
平成24 年	1月(バス旅行)	5	7	11	23

※愛知県の複数の自治体から家族会が集合して交流する大交流会に家族のみが参加

2. 若年性認知症勉強会の活動

“元気かい”に関わるスタッフ・サポーターや、介護に関わる職種で若年性認知症に関心のある人が参加する勉強会を月1回のペースで実施した。各月で話題提供者を依頼し、“元気かい”の活動につなげていくために、多様な角度から若年性認知症について考える機会を持った。

表3に各月の内容を示す。

表3. 若年性認知症勉強会の内容

日程	テーマ
平成 23 年 4 月 15 日 (金) 参加者：16 名	『元気かいの取り組みと今後の展望・勉強会について』 (博愛ナーシングヴィラ：神谷明美) (介護老人保健施設 L A・L A・L A：作業療法士 伊藤篤史)
5 月 20 日 (金) 参加者：24 名	『ご本人・ご家族からの意見』 (ご本人 1 名・ご家族 2 名)
6 月 17 日 (金) 参加者：15 名	『本人ネットワークのすすめ』 ～認知症の本人が語る〔私の生きがい〕～ (博愛ナーシングヴィラ：神谷明美)
7 月 15 日 (金) 参加者：21 名	『若年性認知症デイサービスの現状』 (ファミリーハウス「とんと」古譚：管理者 伊藤大介)
8 月	夏休み
9 月 16 日 (金) 参加者：24 名	『抗認知症薬と併用薬について』 (国立長寿医療センター：薬剤師 吉末泰教)
10 月 21 日 (金) 参加者：20 名	『若年性認知症の実態と社会的支援』 (認知症介護研究・研修大府センター：研究部長 小長谷陽子)
11 月 18 日 (金) 参加者：13 名	『忘年会 (今後の方針元気かいについての打ち合わせ)』 (介護老人保健施設 L A・L A・L A：作業療法士 伊藤篤史)
12 月	冬休み
平成 24 年 1 月 20 日 (金)	『大交流会について』 (認知症の人と家族の会：代表 尾之内直美)

C. 活動の総括

平成20年度に若年性認知症の人と家族の居場所づくりの一環として本人と家族の交流会を始めてから約4年になる。“元気かい”として活動するようになってから3年になり、活動として定着し、本人・家族ともに月1回の交流会を居場所としてとらえている。また、新たな参加者の加わる月もあり、若年性認知症の本人・家族の交流会として認知されつつある。交流会以外でも、本人を交えて家族同士で出かけることもあり、本人・家族間のネットワーク形成の役割を果たしている。

勉強会には作業療法士、介護福祉士、精神保健福祉士、社会福祉士、ケアマネジャーなどの多職種が関わっており、職業的背景の違いが、視点を変えた気づきや学びにつながっている。

昨年度末に、“元気かい”の仲間と一緒にできることはないかということを検討し、今年度4月から音楽療法士にボランティアで参加してもらい、合唱を始めた。本人同士が小グループに分かれて、スタッフを交えながら交流することはこれまでも行っていたが、音楽療法士が季節の歌を紹介しながら皆で歌うことで、本人同士が全体で交流する時間を持つことができるようになった。

その点について4月の勉強会で、「単に皆が一緒に何かをするというだけでなく、何か目標を置いたほうがさらに一体感が増すのではないか」という提案があり、講演会での合唱の披露を目標として定めた。また、5月の勉強会では、元気かいに参加している本人と家族から意見を聞き、「皆で出かけたい」という希望をもとに、1月の“元気かい”ではバスによる小旅行を実施した。このように“元気かい”と勉強会がリンクしているのも特徴である。

“元気かい”では、スタッフ・サポーター同士がディスカッションする時間を持つことは難しい。しかし、勉強会でディスカッションすることで、スタッフ・サポーターの問題意識の共有や一体感の形成につながり、“元気かい”を支える大きな柱となっている。

若年性認知症デイケアプログラムの紹介のためのパンフレット作成

主任研究者 小長谷 陽子（認知症介護研究・研修大府センター研究部）

分担研究者 鈴木 亮子（認知症介護研究・研修大府センター研究部）

A. 研究目的

若年性認知症の約 8 割は介護保険の認定を受けており、要介護 3 以上の割合が高いものの、全体としては利用しているサービスは、デイケア・デイサービスが最も多い。しかし、若年性認知症だけのためのデイサービス・デイケアはまだ少なく、多くの人は、高齢者向けのサービスを利用していると考えられる。従って、プログラムの内容が合わなかったり、物足りないこと、また、専門職の方でも若年性認知症に関する知識や理解が不十分な場合があり、必ずしもスムーズに利用が進んでいるとは言えない。

認知症介護研究・研修大府センターでは、平成 21 年度から、老人保健健康増進等事業を活用し、老人保健施設ルミナス大府において、若年性認知症専門のデイケアを研究事業として開始した。週 1 回のデイケアであり、男性は水曜日、女性は火曜日とした。9 時半に集合し、挨拶を交わしたり、雑談などでリラックスした後、10 時ころから作業を 1 時間半程度行う。後片付けやトイレなどを済ませたあと、昼食となる。昼食後は、迎えの家族と帰宅する。

若年性認知症デイケアプログラムの特徴として、1) 身体機能が保持されており、認知症が受容されていない状態であると、高齢者のような簡単なプログラムでは満足できない、2) 今までの職業歴により、好ましい作業と、そうでない作業がある、3) 新しいルールを覚えるのは困難なことが多い、4) 手続きが少ない作業が望ましい、5) 達成感が得られる作業が望ましい、などが挙げられる。

平成 21 年 6 月から続けてきたデイケアの経験のなかで行ってきたさまざまなプログラムを集積、検証し、普遍的に利用できるプログラムを提案し、普及させるために、「ほのぼのデイケア：若年性認知症デイケアプログラムの実践」を作成することとした。

B. 研究方法

開始から、今までに行ってきたプログラムを網羅し、その中から、利用者に評判が良かったもの、喜ばれたものを選ぶ。プログラムごとに、タイトル、方法、材料、ポイントなどを示して、他の施設でも使えるようなわかりやすいものを目指す。

<若年性デイケアプログラム・パンフレット作り 第1回ミーティング>

日時：平成23年6月22日

場所：大府センター会議室

出席者：小長谷、デイケアスタッフ 6名

● 今までに行ってきたプログラム：

<作品を完成させるプログラム>

塗り絵、七夕飾り作り、フラワーアレンジメント、折り紙、小箱作り、陶芸、ビーズでパッチワーク、クリスマスカード作り、絵はがき作り、バースデイカード作り、封筒作り、クリスマスツリー作り、リース作り、お正月飾り作り、トレイ作り、コースター作り、熊の張り子作り、かご作り、トールペインティング、ブローチ作り、スタンプを使ったメモ帳作り、うちわ作り、棚作り、カラーボックス組み立て、押し絵、新聞紙を使ったゴミ箱作り、紙飛行機作り

<ゲームなど>

カラオケ、トランプ、カルタ、百人一首

<料理>

バーベキュー、マフィン、餃子、たこ焼き、焼き芋、ワッフル、ドーナツ、かき氷、せんべい、ポテトチップス、炊き込みご飯、味噌汁

<身体活動を向上させるプログラム>

ウォーキング、ストレッチ、車いす整備、障子貼り、電球の交換、庭木の剪定、野菜作り、畑の水やり・草取り、野菜の収穫、足湯に行く、日帰り小旅行、花見、紙飛行機飛ばし、いも掘り、散歩、筋力強化体操、菜の花摘み

<スタッフの感想>

＊ 男性は障子貼りが良かった、満足感が得られた。作品を作る場合、キット物は工程が複雑で、うまくいかないことが多かった。

＊ 女性は手先が器用なので、キット物でも大丈夫だった。

＊ 女性は、ネイルをしたら笑顔があった。ハンドケア、マッサージなどのスキップも喜ばれた。

- * クリスマスやお正月などの季節ごとの飾りは、作っているとき季節がわかるからよい。また、継続した作業ができるし、個人のレベルに合わせた作業があるので、やりやすい。1つの物をみんなで作ることができるという点もよかった。さらに、出来上がった作品をロビーなどに飾ると、他の人が見て褒めてもらえるので、達成感、満足感が大きく、家族にも喜んでもらった。
- * ゲーム、しりとりのように勝ち負けがあるもの、ルールがあるものはあまり良くなかった。ルールがわからない人はつまらなそうにしていた。
- * 「メンズ・クッキング」男性がエプロンをして料理をするのは、初めは戸惑いがあったが、少しずつ慣れてきて楽しんでいた。
- * 女性は初めてのことで、きれいだったりするとすんなりできるが、男性は初めてのことをするのに時間がかかる。
- * 物づくりは、能力の個人差が大きい。みんなができること、例えば散歩や足湯はよかった。
- * 毎回、嫌がらずに参加できたことが一番良かった。
- * 男性は食べることが好きなのではないか？ 小物の利用もうまくできた。
- * 本人が写っている写真を集めて、アルバムを作ったのはよかった。
- * 電球を交換するなどの作業は「男にしかできないこと」としてとらえているようで、満足感があった。
- * 細かい作業などは、男女間で、助け合うことで、完成できた作品もあった。女性が、紙を六角形にきる、男性が板に穴をあけるなど・・・
- * 完成した作品を家に持ち帰って、配偶者にあげられたことがよかった。
- * キット物のように、答えが1つの物は厳しい、失敗すると落ち込んだり、いやだといい、できない人は取り残され感があり、反省点である。代用ができるもの、応用が利くものがよいと思った。

＊ デイケアに来ることで家族に変化が見られた。教育的にやらせようとした
り、他の人と比較していたが、デイケアでできたことを家族が褒めるようにな
った。「褒められる」、「必要とされる」ことが少なくなっている、本人、
家族にとってもよい。

＊ 大きな日めくりは日がはっきり分かって使いやすい。

＊ どのプログラムもだめというのではなく、その過程が楽しければ、次の週に
も参加してもらえる。スタッフがそれぞれの個人の能力を理解してくると、居
心地がよくなるようだ。

＊ 大きな作品を作るのは、「切る」、「貼る」、「丸める」、「塗る」、「仕上げ」な
どさまざまな過程があるので、どの段階の人にでもやれることがあるので、良
い。

＊ 家庭の環境がわかるようになった。同居していた娘さんが遠くに行ってし
まって、夫と 2 人暮らしになったら、爪が伸び放題になって割れていた。手の
マッサージをして、ネイルをするということで手入れができた。

これらのプログラムのなかから、パンフレットに採用するものを選択する。

<若年性デイケアプログラム・パンフレット作り 第 2 回ミーティング>

日時：平成 23 年 9 月 14 日

場所：大府センター会議室

出席者：小長谷、鈴木、デイケアスタッフ 6 名

デイケアパンフレットの内容として選択されたプログラム：

＊ クリスマスツリーを作る

＊ ダンボールで張り子のくまさんを作る

＊ 市販のキットを使って、カラーボックスを作る

- * 足湯に行く
- * メンズクッキング
- * (壁の) 桜の木に花を咲かせる
- * 野菜づくり：土起こし、草むしり、苗を植える、水やり、収穫
- * 障子張り
- * ティッシュボックス作り

C. 結果

若年性認知症デイケアプログラム紹介パンフレット

「ほのぼのデイケア・プログラムの紹介」 → 添付

- * パンフレットに取り上げたプログラムを含め、実際にデイケアで行ったプログラム全体の表を次に示す。

(*_^*)・・・非常にうまくいった (^-^)...概ねうまくいった

(-_-)・・・うまくいったものといかなかったものがあった (x_<)・・・うまくいかなかった

プログラム	手順	注意したこと	作業は うまくいった か 達成感は あったか	なぜうまくいったか うまくいかなかったか 感想
軽作業	全体には			
1 障子張り	1. 障子を枠から外す 2. 棧に沿って剥がし液を垂らし、少し時間をおいて浸透させてから、障子紙をゆっくり剥がす 3. 棧に残っている紙を、割り箸などでこすってきれいに取り、ぞうきんで拭く 4. 新しい障子紙を大きさに合わせ、カッターで切っておく 5. 棧に障子糊を塗り、紙を貼る 6. はみ出た余分な紙があれば丁寧に切る 7. まんべんなく霧を吹き付ける	・剥がし液を垂らし、液が浸透するまで少し時間をおいてから障子紙を剥がす手順であるが、すぐ剥がしてしまふ。そうするときれいに剥がれないので待つようをお願いした ・カッターで障子紙を切るとき、長い物差しを使うのでずれやすいが、スタップがしっかり押さええることで安心してやってもらえた ・角を切るときカッターの角度が合わせにくいので、人の立ち位置はそのままで障子を回すなどの工夫をした ・糊をつける場所を指さして確認しながらやった	(*_^*)	・障子は棧があるため、糊をつけたら、紙を切ったりしやすいく ・最後に霧を吹くと、障子がピンと張るので、きれいにできたことを嬉しく思い、達成感を感じてもらえたようだ

2	整理棚作り 収納ボックス作り	1. キットを取り出し、説明書を読み、みんなで組み立て方を確認する 2. 引き出しの取っ手などを付ける 3. 順にネジを締めしていく 4. ネジの部分にパッチ（目隠し）シールを貼って、完成	・仕様キットを見せながら、説明書を読み、具体的に組み合わせ方を見せる ・ネジへのとっかかりが探しにくいので、ねじ回しを当ててから渡す ・電動ドライバの場合、ネジを締めすぎないように、すぐ手を引ける形になるよう、スタッフが手を添える ・パッチなどが細かく取り出しにくいので、予め皿などの上に置いておく	(*_^*_)	・棚や収納ボックスが形となっていてくれるので、みなさん、とても満足そうだった
3	車いすの整備（さび落とし、空気入れ、リム磨き）	1. 車いすを横に倒したり、逆さまにしたりして、磨きやすい形に置く 2. 大きな埃やよごれは雑巾で取っておく 3. ワックスをつけたタオルでリムを磨く	・錆取りワックスのキャップがうまく開けられないので開けておく ・タオルにワックスを付ける際、うまくタオルに載せることが出来ない人には、スタッフがタオルを持っていて、そこに付けてもらう	(*_^*_)	・以前から作業が好きな人は、自分がかきれいにしたという充実感を感じてもらえた ・作業終了後、輪になってお茶を飲んでいるときも、仕事終えたときのようで満足そうだった
	同上	同上	同上	(>_<)	・もともとこういった作業をしていなかった人は不本意そうだった
4	電球の取り換え	1. 切れている電球を外し、新しい電球を取り付ける	・施設管理のスタッフと共に作業 ・電球の取り外し、取り付けの際、電源をオフにする ・三脚を使用する場合は、転倒などに注意する	(*_^*_)	・家でもよくやる作業のためか、手伝いを頼まれると違和感なくやれた

5	戸車の修復	1. 動きにくくなった戸車を外す 2. 戸車を水平になるようにしてネジを締める	・サッシを外し、上下全ての戸車を点検し、付け替えてきているか確認する	(*_~^*)	・家でやったことがあるかどうかわからないが、会社などで似たようなことをしていたのか、器用にできていた
6	レジ袋の仕分けとそれを収納する箱作り	1. レジ袋を広げる 2. 似たような大きさごとにそれぞれ分ける 3. 畳んで収納箱に分けてストックしておく	・袋を広げ、大きさを見て仕分けるが、特大・大・中・小に分ける決め手が難しそうだったので、例を示しておく	(*_~^*)	・男性でもレジ袋に関しては、馴染みがあるので楽しそうにやっていた
	畑作業	全体には			・戸外に出ることは気持ち良く、楽しそうである
7	草むしり	1. 草むしり 2. 土おこし 3. 苗植え 4. 水やり 5. 収穫	・足腰に支障があり、しゃがむことが出来ない人は、段ボールを敷いたり、低い椅子に座って取り組んでもらった	(^-^)	・誰もがやったことのある作業であり、草むしりは好評だった ・除草後のさっぱりした景色を見ながら、木陰で休憩することで、一層心地良さを感じていたようだった。
8	土おこし		・くわをうまく使える人にやってもらったが、他の人はうまくいかなかった	(>_<)	・農作業をやっていた人が上手にやれるのでその人に任せる

9	苗植え	・植える場所に穴を掘ること、苗を入れてから土をかけることを、指さしながら一緒にやってみよう まくできた	(*_~^*)	・植えているときはその一つの苗に集中しているが、全部植え終えた後、苗がきれいに並んでいるのを見て、「植えたんだなあ」と充実感を感じているようだった
10	水やり	・水をかけるときは畑全体にまんべんなくかけるようお願いした ・水を止めるときは水道付近で待っていてもらい、こちらのかけ声で止めてもらおうようお願いした	(^-^)	・水やりは水を撒く係と、水道を止める係に分けたが、水道を止める係の方がうまくいくようだった
11	収穫(きゅうり、トマト、なす、ゴーヤ、さつまいも他)	・収穫物はかごに入れてもらった	(*_~^*)	・「自分たちが植えた苗」ということで収穫は一番楽しい作業だった
趣味の小物・実用 向け 生活小物作り		全体には ※男性と女性に若干の差有り	男性 (-_-)	・細かい作業が苦手、また趣味の小物作りに関しては関心が薄い ・家族への贈り物などだと楽しんでやれる
			女性 (*_~^*)	・小物作りなどが趣味の人もあり、細かいことが苦にならないよう で、楽しく制作していた

12	陶芸	1. 土を練る 2. 水を少しずつ含ませながら、形を作る (手びねり、たたね作り他) 3. 色・絵付け 4. 焼成 5. ニス塗り 6. 再度焼成	・土が固いので、練るのが難しく、水を含ませて練るよう工夫する。水をうまく使うことができない場合、タオルなどで徐々に水を含ませる手伝いをする ・のすことや、手びねりはうまくできていた ・コップの底などにすぎまがある部分については水で生地を伸ばすことを教える	(^-^)	・コップを主に作っていた ・自分や家族が家で使うものができることの喜びが大きかった
13	さくらほりぎりセット 使用 季節の飾りうちわ作り	キット説明書の順序に従って作成	・キットが小さすぎて切ったり貼ったりするのが難しかったため、キットの周りを大きめに切って、細かい部分をこちらで切った	(>_<)	・パーツの細かさや手順の細かさ で、途中でリタイアした
14	さくらほりぎりセット 使用 千支の壁掛け作り	キット説明書の順序に従って作成	・ベースの部分が決まるとあとのパーツは貼っていくだけなので、場所を教えればうまく貼れた ・小さいキット(ウサギの目など)がうまく貼れない場合はスタッフで貼る	(^-^)	・きれいなパーツを、各位置に貼っていくだけで、景色や模様ができる ・細かいキットがなかなか上手に貼れなかった ・和柄布がうまくできた感を一層引き立てると感じた
15	さくらほりぎりセット 使用 友禅柄和紙メガネケース作り	キット説明書の順序に従って作成	・友禅柄の和紙を、円柱に近い形に巻いていくもので、最初の接着部分を教えた ・角度のある部分に切り込みを入れたと貼りやすくなるので切り込みを入れてもらおうようお願いした	(*^-^*)	・細かい切り込みなどは、少なすぎたり多すぎたりするが、糊で貼ってしまうと、皺などはあまり気にならず、できればは良かった ・自分が使う小物だけに大変嬉しそうで良かった

16	さくらほりきりセット 使用 ブローチ	キット説明書の順序に従って作成	・このセットに関しては紙の余分がないので、スタッフが事前に、よりしっかりと作り方の確認をしておく ・柄の向きなどをよく見て貼り付けるよう注意	(*_~^*)	・慎重に貼り付ける部分への注意はあるが、出来上がった後活用でき、美しいので好評だった
17	さくらほりきりセット 使用 菓子鉢	キット説明書の順序に従って作成	・八角形の側面に貼る紙の枚数が多く、時間内に完成できるかどうか心配があったので、女性グループの方で予め切っておいてもらった ・蓋のつまみにつける金具は固いので、その構造をよく知った人(以前に工務店をやっていたご本人)にお任せした	(^-^)	・ふだんの活動は男性グループ、女性グループに分かれてやっているが、得意分野を頼まれた場合、協力し合っている
18	創作マグネット	1. 布・リボン・造花などを小さく切ってミニ花束や飾りなどを作る。 2. それらを市販の丸型マグネットに接着剤でつける	布や造花を貼り合わせるときなど、ずれないように押さえたりするのを手伝う	(*_~^*)	・市販のマグネットに飾りを載せるだけでゴージャスな感じになり、冷蔵庫やスチールデスクに貼ったりでき、実用的でとても好評だった
19	各種カード作り ・3D カード ・絵はがき ・バレンタインカード ・クリスマスカード ・札状 ・暑中見舞い	1. 予めハガキタイプ・見開きタイプなど形を決める 2. 内容に応じた絵や文を好きな絵具で自由に描く 3. 3D カードについては、立体的に折り紙などを折って貼り、作成する	・それぞれの人に応じたカードを選んでもらう ・絵がうまく描けない場合も、シールを貼るなど工夫してもらう ・自由な形であるため、何を書いていいのか、わからない様子だったので、スタッフから2,3メッセージを提示する ・絵を入れる箇所、メッセージを書く場所、シールを貼る場所などを確認し、了解を得ながらやってみよう形で進める	(*_~^*)	・カードは簡単に作れて、身近な人に渡せるアイテムであるため、意欲的に取り組めた ・記念に取っておけるのも良い ・男性はカードを書くことにあまり興味がないのではと感じていたが、誰かに(奥さん)に送ろう、と目標を決めると楽しんでやれた

20	牛乳パックの皿づくり	1. 牛乳パックを開く 2. 皿組み立ての線を描き、それに沿って切る 3. 組み立てる	・簡易的な皿なので、ふちを丸く切る部分は線を描き、線の通りに切ってもらった ・四隅を重ね合わせてホチキスで止めるところは、重ね合わせた牛乳パックがはじけないようにスタップで持っていて、ホチキスで止めてもらった	(*_~^*)	・ホチキスの止め位置がずれることが多かった
21	牛乳パックの小物入れ作り	1. 牛乳パックを開く 2. 組み立ての線を描き、それに沿って切る 3. 組み立てる 4. 取っ手の部分にリボンを巻く 5. 箱の部分と取っ手をつなぐ	・皿より若干難しかったので、スタップが手を加える部分が多かった ・牛乳パックにボンドがつきにくく、リボンがなかなか上手く巻けなかった ・ホチキスで止めるとき、スタップでしっかり持っていること	(^--^)	・ホチキスの止め位置がずれることが皿より多く、また取っ手に和紙や布が木工ボンド等でうまく付かなかったため、スタップも難しかった
22	塗り絵	1. 自分の好きな挿絵を選ぶ 2. 各人好きな絵具を使い、自由に塗る	絵具の使い方、色の選び方を手伝う	(^--^)	・自分の好きな絵具、柄を選んで塗るので上手くやれた
23	紙飛行機作成	キット説明書の順序に従って作成	・翼の向きを間違える場合があるので、注意した ・プロペラの巻ゴムの設置が難しい人がいたので注意した ・翼、本体に絵など描く時、作ってからでは描きにくいので、組み立てる前に描いてもらうよう伝えた	(^--^)	・自分の好きな形を選んで作成に取りかかれた ・多少手順が違っても、見栄え良くできた ・夢中になってやれていた ・飛ばすときも何度も拾いに行ったりは飛ばしていた

24	和布のコースター作り	1. ベニヤ板を 10cm × 10cm くらいの四角形に切る 2. ベニヤ板に木工ボンドで布を貼る 3. その上にコースターとして使いたい柄の布を貼る 4. リバーシブルで使えるよう、布を両面に貼る	・板はベニヤ板なので工作ばさみで切りやすかった ・板に和布を貼るとき、木工ボンドと布がうまくつかず伸びたりしわが寄ったりして困難だったが、スタッフと一緒に引張りながらやれた ・布を切るとき、布切ばさみがうまく使えないところは、スタッフで切っておいた	(^-^)	・コースターの柄も迷いながら、奥さんの好みの柄？を探しているようだった。勧めたものが気に入ると「いいねえ」と言って貼っていた
25	CD ラベルのペイント	1. 音楽はスタッフの方で準備する 2. CD 表面にステンシルで名前や簡単な柄を入れ自分専用で聴ける CD とする	・ラベルが真っ直ぐで絵を描きやすかったので、自分の好きなイラストを選んでステンシルで模様を落としていった ・スタッフは筆に水分が多くならないように注意することと、ステンシルの型がずれないように保つことに注意した	(^-^)	・家で時々CD を聞かれるということ で好評だった
26	アルバム作成	1. デイで撮影した写真の中から、自分の写真や思い出深い行事の写真を選ぶ 2. 吹き出しコメント、イラスト、写真が映えるような切り込み、台紙を加える 3. シール面を剥がし、スタッフと一緒に貼っていき、空気が入らないように閉じる	・どこに貼るか相談すると考えがまとまる ・写真が大きい場合、切ったりする工夫は見られないので、スタッフが線を引いて切ることを指示する	(*_^-*)	・写真を選ぶ時にいろいろなことを思い出し、その時点で大成功と感じる。 ・写真を指さしての会話も多く、とても楽しかった

27	ティッシュボックス作り(イラスト添付・ペイント・ステンシル)	1. ティッシュボックスの板のサンドペーパーかける 2. パーツを白のペンキで塗る 3. ボックスの各面にトールペイント、ステンシル、デコパージュなど得意なもので絵や字を描く 4. その上からケマージュ(特殊糊液)を塗る 5. 乾いたらニスを塗り、また乾かして再度ニスを塗る	・最初の段階の白のペンキは上手に塗れる。忘れてる角、ふち、裏も指摘すれば上手に塗れる ・ティッシュボックスは面積が広いので、ステンドでイラストを描くのは難しいと判断し、イラストを添付する形で行う ・先にイラストを選んでもらい、貼れる形にイラスト通り切る。糊付けは歪んだりしわになるが自分で貼れるところまで貼ってもらう。歪んだりしわになったらぎれた部分はあとでスタッフが修正する ・ニスもペンキと同じように上手に塗れるので、特に注意なく、塗るときは見守る	(*_~^*)	・自分で作ったグッズが、家や施設内で利用されることに、とても嬉しうだった。家族に重宝がられたことも満足そうだった	
28	うちわ作り	1. 昔のうちわで絵が剥げたり破れているものを、水を張った洗面器に漬け、紙をきれいに剥がす 2. うちわの大きさより少し大きめに好きな絵柄(雑誌・包装紙・カレンダーなど)を型どって切る 3. うちわの骨に糊をつけ、絵柄を貼る 4. 絵柄のはみでたところを丁寧に切り取る 5. 「耳」と言われる補強部分をつける	・元の紙を剥がすのがなかなか難しかったが、種類によって長く水に漬けておくときれいに剥がれたり、スポンジでこするときれいに剥がれるなどコツがわかってきてからはうまくやれた ・絵柄を選ぶのに迷うことが多かったので、スタッフの方から、2,3 提示した	(^-^-)	・この夏、節電の協力もあったことで、みんなの意識も高まり、一所懸命やれた ・皆、できあがった後は一様にあおいでみて涼しさを楽しんでいた	
29	クリスマスパーティー 用お皿・コースター作り	1. 牛乳パックを開く 2. 四隅に切り込みを入れる 3. 切り込み部分を重ねてホチキスで止める 4. 皿の上をアルミホイルでぴったりと覆う	・切り込みをホチキスで止めるときずれることが多かったのもので、その部分をスタッフが持っていた ・アルミホイルは破れることが多かったのもので、予め若干のしわをよせてもらった。しわがあると風合いも出てよかった	(*_~^*)	・アルミホイルのしわは敷きやすいばかりでなく、風合いが出たことと、使ってみて、食品が滑らず置きやすかったり、醤油などを入れてもつけやすくとても実用的で良かった	
館内ディスプレイ 季節のオブジェ		全体には			(*_~^*)	・みんなですすず作っていた物が最終的に大きく華やかなオブジェになるところに協力し合って完成した感激があり、達成感がある

30	七夕飾り	1. 芯になる形を作る 2. 七夕飾りを作る ・短冊 ・提灯 ・折り紙・色紙飾りなど 3. みんなで飾る	・折ること、切ることなど得意な作業が違うのでそれぞれにできる飾りを作る ・他の人が作ったものについて、作り方を尋ねたり、七夕を楽しむために協力してもらったことに礼を言う(オブジェなので施設のためにやっても良かったものである)	(*_^*)(*_^*)(*_^*)	・それぞれが自分の得意な飾りを作れるので、好き嫌いや、難易度が違って問題がない ・みんなですすずつ作っていた物が最終的に大きく華やかなオブジェになるところに、協力し合って完成した感激があり、達成感がある
31	クリスマスツリー	1. 芯になる形を作る 2. ツリーの飾りを作る ・リボン ・リース 3. 鐘・ローソク・プレゼント・木の葉など小物を飾る	同上	(*_^*)(*_^*)(*_^*)	同上
32	正月飾り	1. 芯になる形を作る 2. 正月飾りを作る ・角松 ・ミニ扇子 ・花餅 など 3. 飾りを飾る	同上	(*_^*)(*_^*)(*_^*)	同上

33	バレンタインのオブジェ	1. 芯になる形を作る 2. 卵を使って飾り小物を作る 3) 生卵に細い穴をあけ、ストローを差し、中身を吹き出す 2) 卵にきれいな色の絵の具等を塗ったり、ラメなどを塗りバレンタインに合った感じに仕上げる 3) 棒を組んで、糸をかけ、卵を吊るす	・卵の中身を抜くのが難しいので、まずスタッフが実践する。そのあと一緒にやってみよう。 ・中身を抜いた卵に色を付ける時も、飾るときも丁寧に扱わないと壊れるので慎重にやってみよう	(^-^)	・それぞれが自分の得意な飾りを作れるので、好き嫌いや、難易度に関題がない ・みんなで少しずつ作っていた物が最終的に大きく華やかなオブジェになるところに協力し合って完成した感激があり、達成感がある
34	張り子のクマ	1. クマの型をとり、立体的にし、新聞などで中身を作り、その中に詰める 2. 本体が立体的にできあがったら、糊で固める 3. その上にクマの色を塗る 4. 目鼻を入れ出来上がり	同上	(*_^*_*)	・この張り子のクマは季節のオブジェのお供として、いろいろなディスプレイに使えるので便利 ・お正月には着物を着せたり、桜の花の横にはランドセルを背負った小学生バージョンとして利用し、楽しめる
35	階段下の花壇	1. 花壇に設置する花(チューリップ、水仙など)を折り紙などで作る 2. 石なども新聞紙などで立体的に作り、色をつける 3. 花壇の石などで庭らしく設置する	同上	(*_^*_*)	・花壇を設置した場所は、車いすなどが置いてある場所が目立たない所であったが、そこに設置することによって施設内も明るくいい雰囲気になり、それを見ると気分も明るくなった

36	リース作り(家庭用・施設用)	1. さつま芋のつるを集める 2. 青いうちに巻いておく 3. 干して乾燥させる	・芋のつるを巻いていく作業では、一度スタッフがやり見てもらった。それでも実際自分が巻くときはうまく巻けないので、最初の1～2周は巻いて渡した ・どのくらいの量を巻いていいのかわからない様子だったので、注意していて、切り上げるところを伝える	(*_~*)	・力作業でもあるので、男性は得意とするところだったと思う ・リースの直径を大きく作ったり小さく作ったり楽しくやれていた
37	クリスマスリース 飾り付け	1. みんなで作ったリースに好きな木の実、リボン、飾りなどをつけていく	・スタッフの提案した飾り付けでやってもらったため、リボンを巻く作業、グルーガンで木の実を貼り付ける作業、ワイヤーで星など小物をつるす作業など全部細かく指示をしてやってもらう	(^~^)	・リースの飾り付けそのものへの興味や関心は少なかった。リースのイメージもないので、スタッフが飾り付けを考えたと感じになってしまった ・それでも美しいものが出来たことと、季節の飾りであるので、出来上がったものを見て満足そうだった
クッキング		全体には		(^~^)	・食べることはみんなの楽しみのひとつである。しかし今まで台所が馴染みの深い場所とは言えなかったため調理器具の使い方などに苦労する場面もあった ・それでも男の料理らしく豪快に「食べられたらいいさ！大きくても小さくても胃の中では一緒になるんだから！」のかけ声で楽しく作れた

38	きな粉入りどら焼き	- 分量を量って準備する - ホットケーキミックスのもとと卵、牛乳、バターなどを混ぜる - そこにきな粉を混ぜる(量は好みで入れ、堅さは牛乳で調整) - ホットプレートを温め、直径 10cm くらいに流す - いくつかが焼けたら冷まして、小豆をはさみ、どら焼きにする - 自分たちで作ったお皿に盛っていただく	・ホットケーキをフライ返しで返すとき若干難しいよ うで慎重にやっていたが、慣れてくると段々上手 になってきた	(*_^*_)	・きな粉の風味はみんなが好みだった たようで、とても満足そうだった
39	焼き芋 ふかし芋	- 芋を洗う - オーブンを「焼き芋」メニューにして焼く。または 10cm 幅位に切ってもらい、蒸し器でふかす	・生の芋は固いので包丁で切ってもらったとき、添え る方の手などに気をつけてもらう	(*_^*_)	・サツマイモはみんな好きなようで美 味しくいただけ、話もはずんだ ・ふかし芋もなかなか人気があり、こ の年代の人にも馴染みの深い食べ 物のようだった
40	ワッフル	- ホットケーキミックスを分量どおりに混ぜる - ワッフル型に流す - 泡立てたクリーム、ジャム、パウダーシュガーな どかけて戴く	・器具で焼くので特に問題はなかった ・こういった調理用具を使用するのも良いと感じた	(*_^*_)	・ワッフル型があるので、目先も変 わって美味しく戴けた
41	ぜんざい	- ゆで小豆の缶詰を缶切りで開けてもらい、鍋に 入れ水でのばし火にかける - ホットプレートで餅を焼く - 碗に餅を入れぜんざいをかけて戴く	・缶切りでの出だしがわかりにくそうだったので缶 切りの最初のとっかかりと、進む方向に角度を合 わせてから缶切りを渡した。 ・缶切りで開けてもらっているときケガの無いよう 注意した	(*_^*_)	・餅は家ですいた餅だったため、既 製品との違いを話したり、話題は味 覚にまで及び、ぜんざいを食べなが ら話が弾んだ

42	炊き込みごはん・豚汁・プチホットケーキ	1. 米をとぐ 2. 炊き込みご飯の素と分量の水を入れて炊く 3. ご飯が炊ける間に豚汁用人参、大根、ネギ、豚肉などを切る 4. プチホットケーキも材料を併せてホットプレートのタコ焼きのところで焼く	・平行していくつかの作業をするので、みんなにまんべんなく仕事ができるよう気を配りながらする ・同じ人が同じ仕事にならないように気をつける	(*_~^*)	・ご飯、汁物、お菓子と、一度に平行していろいろなメニューが作れたことに満足しているようだった
43	バレンタインお菓子 さつまいもトリュフ	1. 蒸したサツマイモを熱いうちにすりこぎで潰す 2. その中に湯煎で溶かしたチョコレシート、バター、砂糖を入れよく練る 3. 調理用手袋をはめて手の上で団子のように丸める 4. 丸めたものをバットに入れた、ココア、きな粉、抹茶のなかで転がし味と色をつける	・丸めるとき、最初から丸めるのは難しいためラップに包み、茶巾しぼりのように少し形をつけた物を渡す	(*_~^*)	・元がサツマイモであるので、チョコが混ざっていても、芋の風味があり、美味しかった ・また体にも良い食物が使え、数も多くできたのでよかった ・バレンタインの贈り物として、家庭にも持ち帰ってもらった
44	焼きそば・おむすび	1. 先にお米をといで炊いておく 2. 焼きそばの野菜(キャベツ・タマネギ・人参など)、肉を切り、炒め、焼きそばを入れ炒める 3. おむすびの係の人でおむすびを準備する 4. 焼きそばにかけけるソースを、焼きそばソースと、塩だれソースに分ける	・おむすびを握ってくれる人には、予めラップにのせたご飯を軽く丸めたものを渡す。そのあと三角を作ってもらう。 ・焼きそばに半分ずつソースをかけるとき均等に分けてもらえるよう声かけする	(*_~^*)	・焼きそばソースの味の違いが楽しいめ話が弾んだ。 ・おむすびは三角や俵型や丸形ができて笑いがいらただけ良かった
45	カレーライス	1. 野菜・肉を切って煮る 2. 煮えてきたらカレー粉を入れる	・カレーの水の量に気をつけた ・熱いので火に気をつけた	(*_~^*)	・水が少し多くなってしまったが、カレーは馴染み深い食べ物であるので、みんな喜んで食べた

46	春色ちらし寿司・お いなりさん	1. お米をといで炊いておく 2. ちらし寿司に入れる、キュウリ、ショウガなどを切り、ホットプレートで薄焼き卵を焼く 3. ご飯が炊けて少し冷ましたら、いなり寿司の合わせ酢を、半分の量のご飯に混ぜる 4. 残りのご飯にちらし寿司の素を混ぜ込む 5. 半分ずつきれいに盛る	・卵焼きを焦がさないよう早めにひっくり返してもらう ・いなり寿司にいれるご飯は、適量を丸めて皿に置いておく ・ちらし寿司の飾りは偏らないよう均等に散らしてもらう	(*_^_*)	・寿司飯に関しても馴染み深く、この年代の人は好きなようで、ちらし寿司もいなり寿司もどちらもいいね、と好評だった
47	桜餅	1. ボウルに分量の白玉粉と小麦粉を入れ混ぜる 2. 色を見ながらほんの少し食紅を入れる 3. ホットプレートに、丸くのばし焼く 4. 皮が冷めたら、こしあんを包み桜の葉で巻く	・食紅を入れすぎないよう、つまようじなどを用い少しずつ足してもらう	(*_^_*)	手順が簡単なので誰もがうまくできた。また、前回作ったさくら堀切菓子鉢にセッティングし、ホワイトデーのお菓子として家庭にも持ち帰ってもらった。
48	クリスマス会・たこ焼 きパーティーなど全体 会での調理	作ったもの ・クリスマスケーキ ・餃子 ・たこ焼き ・おむすび	・それぞれの料理を係に分かれて作った。 ・ケーキ台に生クリームを塗る人、たこ焼きのキャベツを切る人、ウィンナを調理はさみで切る人、おむすびを作る人などそれぞれの持ち場でスタッフと共に調理できた。 ・刃物を使うときや細かい作業はスタッフが声掛けし、見守りながらやってもらい、声掛けは最低限にしました	(*_^_*)	・大勢でやる楽しさや、自分の責任で任されて作る料理への真剣な取り組みがみられた ・他の人の作ったものを見たり食べたり、いろいろな場面ができたことが良かった。
屋外活動		全体には			・外に出るのは気持ちがいよいものであるし、暑い日も、寒い日も短時間であれば体への負担も少なく、季節感を感じるという意味でとてもよいと感じられた

49	健康の森公園 散歩 (春・秋)	・近くに散歩に最適な公園があるので、体調・天候を考慮しながら、天気の良い日は朝のうちに散歩に行くようにしている	・それぞれの体調をよくみてでかける ・車椅子を1台用意して出かける ・広く座れる場所を見つけておく	(*_~^*)	・桜の花や紅葉を見ながら、また公園内で遊ぶ子供たち、散歩に連れてきた犬などを見ながら休憩すると、話が自分の家のことにまでも広がりがり、とても楽しい。
50	花見	・花見は恒例の行事だったことが多いと思われるので、季節には花見をしながら、お昼ご飯などを皆でいただく	・花見のできる近くの公園に、現地集合で行くので事前の打ち合わせを十分する	(*_~^*)	・花見の時はご家族にも声を掛け、普段話せない人も集まることができるので交流が生まれ、楽しく過ごすことができる
51	常滑焼散歩 策	・季節の良い時には、安全な場所で見んがが行きたい場所などを話し合って、ご家族の協力等があれば車で出かける	・下見(トイレ・休憩所の状態の確認)、体調管理、ご家族への打ち合わせ等事前にしっかりやっておく	(*_~^*)	・協力し合うことができ、充実した外出ができた
52	足湯 2~3回/年	・近くに温泉があり、広くて入りやすい足湯があるので秋口から春の始めくらいまでの間に、年によって2,3回は行く	・下見(トイレ・休憩所の状態の確認)、体調管理をしっかりやっておく ・タオル・バスタオル・防寒用品は多めに用意しておく	(*_~^*)	・寒い冬は外出時の体調管理に気を付けながら、足湯に行くことにより、体も温め、血行を良くし、会話も弾みとても良い雰囲気になれる。
53	紙ヒコーキ飛ばし	・施設の屋上で外の空気を吸いながら、紙飛行機をとばしてみる ・屋上から見える四方の景色も楽しむ	・風が強い日は、歩く時や紙飛行機を飛ばすときに気を付ける ・屋上の外に飛んで行かないように、真ん中辺りで飛ばす	(*_~^*)	・それぞれに紙飛行機やその飛ばし方に思い入れがあるようで、楽しくやれた ・少年時の楽しさが甦ってくるようで無心に遊べた

54	風あげ	・屋上で外の空気を吸いながら、風あげをする。 - 風を持ってもらってスタッフが走ってあげる ・屋上から見える四方の景色も楽しむ	・風を高く持ってもらえるよう注意する ・上手く飛ぶよう、風の向きも一緒に考えてもらう	(*_^~^*)	・風あげはみんながやったことがあるので、楽しくできた ・冷たい風に当たたることも健康的で気持ちよかった
55	豆まき	1. 豆を入れる容器を牛乳パックで作る 2. 年の数の豆を数えて容器に入れてもらう 3. 屋上、館内に豆をまきに行く	・豆を数える際、スムーズに数えられるよう一緒に数える	(^-^)	・数えることがなかなか難しくなってきた
屋内 リクレーション		全体には			
56	お正月かるた・トランプ	・カードはスタッフが配ったり、読んだりする	・本人が自然に札を見つけやすくなるよう配慮する	(^-^)	・取った枚数などに他の人と差がでることを好ましいと思っていない
57	体操	・いろいろな音楽に合わせて体操をする	・音楽はいろいろなジャンルにする ・難しい動きで、座ってもやれる体操にする ・楽しく体を動かす	(*_^~^*)	・みなさんご家庭でも積極的に体を動かしているようなので、体操に関しては拒否なく楽しくやっている

若年性認知症デイケア
実践的プログラムの紹介

ほのぼのデイケア



はじめに



「認知症」は、ものの忘れをおこす病気です。
高齢者の病気と思われていますが、若い世代でもかかることがあり、
65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」といいます。

現役世代であり、社会の一員であり、家庭の中心にいた人が、
病気になると仕事を辞めたり、役割を果たせなくなってしまいます。

もっと
体を動かしたい



もっと
社会の役に立ちたい

もっと
仲間と一緒にいたい

もっと
家族を喜ばせたい

こんな願いは無理なのでしょうか？

認知症でも、仲間を作り、ものを作り、達成感を持ち喜んでもらえる
こと、やっています。
いつもの生活をちょっと工夫して楽しい日々をおくること、いっしょ
に始めてみませんか？

若年性認知症デイケア
実践的プログラムの紹介

ほのぼのデイケア

目 次

	Page
若年性認知症とは…	3
デイケアの必要性、デイケアプログラムの 意義（達成感療法）について	4
始める前に…	5
取組みの紹介	
● 張り子のくま作り	6
● 壁飾り～桜～	8
● 野菜作り	10
● クリスマスツリー	12
● ティッシュボックス作り	14
● フラワーアレンジメント	16
● 整理箱作り	18
● 障子張り	20
● メンズクッキング	22
● 足湯を楽しもう	24
● 交流イベント	26
社会参加に向けて	26
デイケアの効果	28



若年性認知症とは…

65歳未満で発症する「若年性認知症」の人は、現在、全国で約38,000人くらいです。65歳以上で発症する、「認知症高齢者」は、200万人とも、300万人ともいわれていますので、それに比べれば、かなり少ない数です。

女性より、男性に多く、(有病率の男女比は、57.9人：36.7人)、原因疾患も血管性認知症が最も多く、多様であるのも特徴です。

発症年齢は50歳代前半が多いとされており、まさに現役世代です。

会社で中核的な立場にある人、自営業でばりばり働いている人、家庭でなくてはならない存在の人、このような人たちが、病気になり、仕事や家事がうまくいかず、ミスが増えてきて、不安と焦燥のなかにおかれます。

本人も家族も、認知症とは思わず、時間を過ごしてしまうことも少なくありません。

認知症と診断され、治療が始まって不安や焦りは消えるどころか、ますます大きくなる場合があります。

仕事場や家庭で居場所がなくなり、閉じこもりがちになってしまうと、心が内向きになり、認知症の進行にも影響しかねません。

若年性認知症の約8割の人は介護保険の認定を受けており、要介護3以上の割合が高く、利用しているサービスは、デイケア・デイサービスが最も多くなっています。

しかし、若年性認知症のひとだけのためのデイサービス・デイケアはまだ少なく、多くの人は、高齢者向けのサービスを利用していると考えられます。従って、プログラムの内容が合わなかったり、物足りなかったりします。

また、専門職の方でも若年性認知症に関する知識や理解が不十分な場合があります、必ずしもスムーズに利用が進んでいるとは言えません。

そこで、認知症介護研究・研修大府センター（大府センター）では、若年性認知症に適した、デイケアプログラムの開発を目指すことにしました。



デイケアの必要性、 デイケアプログラムの意義（達成感療法）について

大府センターでは、老人保健健康増進等事業を活用し、平成21年度から、老人保健施設ルミナス大府において、若年性認知症専門のデイケアを開始しました。

一 日 の ス ケ ジ ュ ー ル

週1回のデイケアで、男性は水曜日、女性は火曜日です。

家族に送られて9時半に集合し、挨拶を交わしたり、雑談などでまずはリラックスします。その後、10時くらいから1時間半程度作業を行います。後片付けやトイレなどを済ませて、昼食となります。昼食後は、迎えの家族と帰宅します。

若年性認知症デイケアプログラムの特徴として

- 1 身体機能が保持されており、認知症が受容されていない状態であると、高齢者のような簡単なプログラムでは満足できない。
- 2 今までの職業歴により、好ましい作業と、そうでない作業がある。
- 3 新しいルールを覚えるのは困難なことが多い。
- 4 手続きが少ない作業が望ましい。
- 5 達成感が得られる作業が望ましい。

などが挙げられます。

この2年半の間、デイケアの経験をもとに、さまざまなプログラムを行っていましたが、そのなかから、好評だったものなどをいくつか選んでみました。若年性認知症のデイケアに興味を持ってもらえ、実践できるよう、わかりやすく解説しました。

若年性認知症の人にとって、心の温まる居場所になればと「**ほのぼのデイケア**」という名前がついています。

始める前に…

では、若年性認知症のデイケアを始めましょう。

まず最初に

若年性認知症の方は、認知症高齢者に比べて人数が少ないので、デイケアができるだけの人数を集めなければなりません。何人がよいかは、若年の専門デイであるのか、高齢者といっしょなのか、スタッフの数、スペースや施設内外で使える資源などにより、異なってきます。

大府センターの場合は、研究事業ですので、ほぼ1対1のスタッフが確保できました。

利用者さんの男女比も重要です。男女一緒に行くか、別々とするか、スタッフを同性にするか否か、家族の協力度は？ 通所方法は？…などを検討することが必要です。

苦労したこと

～初めの頃～

女性の場合は、利用者さんどうしも、スタッフと利用者さんの間も、すぐに打ち解けて話が弾み、作業への導入もスムーズでした。しかし、男性の場合はそうはいきません。スタッフのほとんどが女性であったためか、話の出だしからうまくいかず、共通の話題もみつからず、シーンとする場面もありました。男性の利用者ご自身も、このような場で会話する経験が少ないためか、なかなか話にのってきません。

しかし、会を重ねるうちに、顔なじみになって来て、「今日は〇〇さんはきとらんね。どうしたのかね？」などと気づかう言葉も出てくるようになりました。

今ではすっかり仲良くなって、デイの時間以外でも家族どうしで交流している人もいます。

～他にも～

現役の時の仕事の内容や身分によっては、デイで行う作業が合わない場合があります。特に男性で、管理職やホワイトカラーだった人は、手が汚れるような仕事に拒否感を示す場合もあります。経歴などをよくアセスメントする必要があります。

しかし、あまり、堅苦しく考える必要はありません。

とにかく、始めることが大切です。